IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

						福山市立		大津野小		学校																																									
年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）																																									
							取組に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善 方針	取組に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善 方針																																				
2	基礎学力の定着と 思考力・判断力・ 表現力の育成	★	見 直 し	・「わかる」「で きる」「学びが面 白い」と実感する 授業をつくる。	単元構成シートを活 用し、自己選択・自 己決定できる場を設 けた授業づくりを行 うことで、自ら学び を深める児童の育成 を図る。	国語科・算数科の授業は 「好き」「よくわかる」 「学びが面白い」質問 目に対する肯定的評価8 7%以上にする。【児童 アンケート】	□児童アンケートの質問項目に対 する肯定的評価 <table border="1"> <tr><td>国語科</td><td>89%</td><td>83%</td></tr> <tr><td>授業が好き</td><td>92%</td><td>87%</td></tr> <tr><td>学びが面白い</td><td>87%</td><td>84%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>87%</td><td>87%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table>	国語科	89%	83%	授業が好き	92%	87%	学びが面白い	87%	84%	平均	87%	87%	達成率	100%	100%	3	3	・学級の中で手意識をもって いる児童や個別の支援が必要な 児童を把握する。 ・学期終わりに単元構成シート の向きや音読の取組に対する交 流を行い、よりよい授業づくり に向けて全員で検討を行う。 ・肯定的評価でない児童の把握 をし、個別に指導を行う。	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況 <table border="1"> <tr><td>国語科</td><td>87%</td><td>84%</td></tr> <tr><td>授業が好き</td><td>93%</td><td>93%</td></tr> <tr><td>学びが面白い</td><td>91%</td><td>88%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>89%</td><td>87%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table>	国語科	87%	84%	授業が好き	93%	93%	学びが面白い	91%	88%	平均	89%	87%	達成率	100%	100%	4	4	4	・授業内外で児童に選択や判断をさせる場 面を意図的に設定し、自己決定の上から 学ぶ達成感をもたせ、学習への意欲を高 める。 ・調べ学習の内容や児童の成果物を教室や 校内に掲示したり、学年通信やGoogleク ラウド等で発表できるようにしたりする ことで、多くの人の目に触れる環境をつ くり、自己肯定感や自己認知力の向上へと 繋げていく。 ・「わかる」とは何か「できる」とは何 か、共通認識がもてるように研修の交流 を行いながら児童の学びや思考がなが る授業づくりに取組んだ。						
				国語科	89%	83%																																													
授業が好き	92%	87%																																																	
学びが面白い	87%	84%																																																	
平均	87%	87%																																																	
達成率	100%	100%																																																	
国語科	87%	84%																																																	
授業が好き	93%	93%																																																	
学びが面白い	91%	88%																																																	
平均	89%	87%																																																	
達成率	100%	100%																																																	
・国語科・算数科 における基礎学力 の向上を図る。 【課題】【思】	児童の課題を分析し 、授業改善の推進 やドリルタイムの実 施、タブレットを効 果的に活用してい く。	・単元テスト（国語科「思 考・判断・表現」、算数科 「知識・技能」観点）や各種 学力調査において、60%未 満の児童を低学年6%、中 学年9%、高学年12%未満 及び全国平均以上にする。 【単元テスト・全国学力・ 標準学力調査】	□単元テスト（国語科「思考・判断・ 表現」観点において、60%未満の児童 を把握する） <table border="1"> <tr><td>国語科</td><td>61%</td><td>68%</td><td>67%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>算数科</td><td>61%</td><td>61%</td><td>68%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>61%</td><td>64%</td><td>68%</td><td>68%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>12%</td><td>12%</td><td>12%</td><td>12%</td></tr> </table>	国語科	61%	68%	67%	68%	算数科	61%	61%	68%	68%	平均	61%	64%	68%	68%	達成率	12%	12%	12%	12%	3	4	・学力アップデーやドリルタイム等 の時間を活用して、学力調査で課題 のあった領域への重点的な指導を行 う。 ・「フレームリーディング」等の手 法を指導、読解文の中で取入れるこ とで、読み進めることと様々な教 材文を読み進める。 ・授業内外において多様な文章問題 に取り組むこと、個別的に全文 単体の内容を読み取る力をつける。	□単元テスト（国語科「思考・判断・表 現」観点において、60%未満の児童 を把握する） <table border="1"> <tr><td>国語科</td><td>60%</td><td>62%</td><td>63%</td><td>63%</td></tr> <tr><td>算数科</td><td>60%</td><td>62%</td><td>63%</td><td>63%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>60%</td><td>62%</td><td>63%</td><td>63%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>12%</td><td>12%</td><td>12%</td><td>12%</td></tr> </table>	国語科	60%	62%	63%	63%	算数科	60%	62%	63%	63%	平均	60%	62%	63%	63%	達成率	12%	12%	12%	12%	4	4	4	・教科の系統性を踏まえた学習指導の研究 を指し、課題のある単元や領域につい ては、計画的に設定した学年会の中で、教 材に関する指導方法や評価方法の情報交 換を教師間で行う。 ・学習指導要領や学習系統表等を参照し てカリキュラムマップに「単元」のつな ぎを記入し、教員と児童がともに見通 しをもって学習できるようにする。 ・各クラスで60%未満の児童を減らせ るよう、上記の目標達成に向けた取組を 周知し、ドリルタイムや家庭学習等も活 用した取組を引き続き確実に進めてい く。
国語科	61%	68%	67%	68%																																															
算数科	61%	61%	68%	68%																																															
平均	61%	64%	68%	68%																																															
達成率	12%	12%	12%	12%																																															
国語科	60%	62%	63%	63%																																															
算数科	60%	62%	63%	63%																																															
平均	60%	62%	63%	63%																																															
達成率	12%	12%	12%	12%																																															
2	主体性・積極性、 共感力の育成	★	見 直 し	お互いの立場を尊重 し合え、自尊感情の 高い児童を育てる 【共】	学期に1回、お互いのよ さを認め合える場を設 定する。（なりたい自分の 振り返り） 学期に1回、職員会議等 でお互いのよさを認め 合えるように設定した 場面の交流を行う。	学級力リーダーチャー トにおける「相手を受け 入れる」を80%以上に する。【毎月のリーダー チャート】	□学級力リーダーチャートにお ける「相手を受け入れる」 80%以上を達成する。17/18 【達成率118%】 ・学級代表委員会で、各 クラスの学級力向上の 取組について話し合 いを行った。	3	4	・研修時間を設け、具 体的な目標の例やOP Tで何をしたいかなど 、教員同士で共有を 図る。 ・各クラスで毎月行 うことで、学年間 でも良さを認め合 えたり、どんなに 取組んでいるのか が知りたがる機会 を設ける。	□学級力リーダーチャー トにおける「相手を受け 入れる」80%以上を 達成したクラス：17/18 ・毎月学級代表委員 会で、各クラスの 学級力向上の取組 について話し合い を行った。	3	4	4	・OPTを金曜日の朝 学級の時間だけで なく二日分けて行 った。学年の美 術に合わせた 取組が話し合 いによって進 行し、自分 の得意な 分野を伸ば すために 進められ るよう取 組んでい く。 ・毎月学級 代表委員 会で、各 クラスの 学級力向 上につ いて話し 合いを 継続的 に行う。																																				
2	たくましい体の育 成		継 続	めあてをもち、自ら 進んで健康・体力向 上を図る児童を育 てる【課】【主】	体育の授業が「楽しい」と 思えるよう授業改善の推 進を行うとともに、児童 が自ら主体的に取り組 めるような場づくりを 行う。体育委員会で体 力向上の取組を考え、 定期的に行うことで、 運動やスポーツに対 する意欲や運動能力を 高める。	運動やスポーツをす ることが好きな児童を 87%以上にする。【体 力テスト・児童アン ケート】	□児童アンケート「運動やスポ ーツをすることが好き な児童：91.8%」 【達成率106%】 14/17クラスが達成 した。 ・職員研修において、 児童が主体的に 取り組めるような 場づくりについての 研修を行った。	3	4	・もりもりタイム において、楽しく 取組める運動や スポーツを取り入 れたい。 ・体育委員と遊 ぼうDAYで楽し く取組めるもの を提案・実践し ていく。	□児童アンケート「運 動やスポーツをす ることが好き」な 児童：91.3% （104%）で達成 した。 ・体育委員と遊 ぼうDAYを提案 していくこと も、来年度の はじめても 実践できるように 職員で共通理 解をもつ。	3	4	4	・もりもりタイム を通して運動が できる時間であ るといことを 児童が認識でき るよう、継続 して取り組んで いく。 ・3学年も体育 委員と遊ぼう DAYを提案し ていくこと も、来年度の はじめても 実践できるように 職員で共通理 解をもつ。																																				
3	教職員の元 気・笑顔	★	継 続	業務改善の実施と仕 事のスピード化・効 率化を意識し、職務 を遂行する【課】 【主】	週・月ごとの計画を 早めに立て、見直し を持って職務を遂 行する。 職員の状態の把握 し、精神・健康面 のケアや業務達成 の支援する。	時間外勤務時間の平均 45時間未満の月 100%にする。 仕事のやりがいを感じ ている教職員を90% 以上にする。 【100EN教育アン ケート】	□時間外勤務時間の平均45時間未 満の月 <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr> <tr><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	100%	100%	100%	100%	100%	100%	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	3	4	・在校等時間だけ ではなく、持ち 帰りの業務量 を減らせるよ う、仕事内容 や時間の精 進を行ったり 、SSSの有 効活用を行 ったりする。 ・お互いに思 いを語り合 えるよう、 職場内の風 通しをよく する。また 職員同士の フォローを し合えるよ う、働きか ける。	□100ENアンケート「仕事に やりがいを感じて いる」教職員：92.3% （達成率102.6%） ・本音で語り合 える雰囲気が高 まり、やりが いにつなが っているが、 仕事量は まだまだ多 く、持ち帰 る職員も多 い。	3	4	4	・業務改善につ いて今後も 継続して話 し合いを重 ね、業務の 見直しをし ていく。 ・生徒指導や 学級経営や 職員関係な ど、最寄り の学年回 ・分掌など で気づい たことを早 いうちに 連携をとり 、解決でき るよう、今 後もチーム で取り組 むことで、 職員のや りがいにつ ながる。																		
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																														
100%	100%	100%	100%	100%	100%																																														
達成率	100%	100%	100%	100%	100%																																														
4	保護者・地域から 信頼される学校の 創造		継 続	自ら主体的に考 えられること、そ して、地域に愛 着をもち、地域 貢献する児童 を育てる【共】	当たり前のこと（挨拶・補 給）が当たり前 にできる児童 を育成する。 HPなどを活用し 情報公開を行 う。 月1回以上の通 信発行で児童 の様子を伝 える。	保護者満足度を90% 以上にする。【保護 者アンケート】	□保護者アンケート「学校に 満足している」89.9% 【達成率99.9%】 12/18学級が達成 した。 ・学校だより・学 年だよりを 紙面やHPな どで児童の 様子を発信 した。	3	3	・各学級担任は 否定的に回 答している 保護者を 把握し、電 話・通信 などを活用 して個別 に働きか ける。 ・特に否 定的な意 見が多 かった家 庭に関し て、電話 ・面談等 で個別の ニーズを 把握して 、改善に 努める。	□保護者アンケート「学 校に満足して いる」90.5% （達成率100%） 13/18学級が 達成した。 ・学校だより・ 学年だよりを 紙面やHPな どで児童の 様子を 発信した。	3	4	4	・一定数、現在 の学校に対 してはな く、過去の 経験から 否定的に 回答され る家庭も ある。否 定的な回 答につ いて、各 学級で 分析を行 い、改善 方法を 継続的 に行う。																																				

【プロセス評価の評価基準】

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

【達成評価の評価基準】

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

【総合評価の評価基準】

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。